

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平10-332255

(43) 公開日 平成10年(1998)12月15日

(51) Int.Cl.⁶

F 2 5 D 23/00

識別記号

3 0 1

F I

F 2 5 D 23/00

3 0 1 Q

審査請求 未請求 請求項の数4 F D (全 7 頁)

(21) 出願番号 特願平9-158055

(22) 出願日 平成9年(1997)5月30日

(71) 出願人 000001889

三洋電機株式会社

大阪府守口市京阪本通2丁目5番5号

(72) 発明者 柿沼 善一

大阪府守口市京阪本通2丁目5番5号 三

洋電機株式会社内

(72) 発明者 柳川 純

大阪府守口市京阪本通2丁目5番5号 三

洋電機株式会社内

(72) 発明者 濱 道久

大阪府守口市京阪本通2丁目5番5号 三

洋電機株式会社内

(74) 代理人 弁理士 雨笠 敬

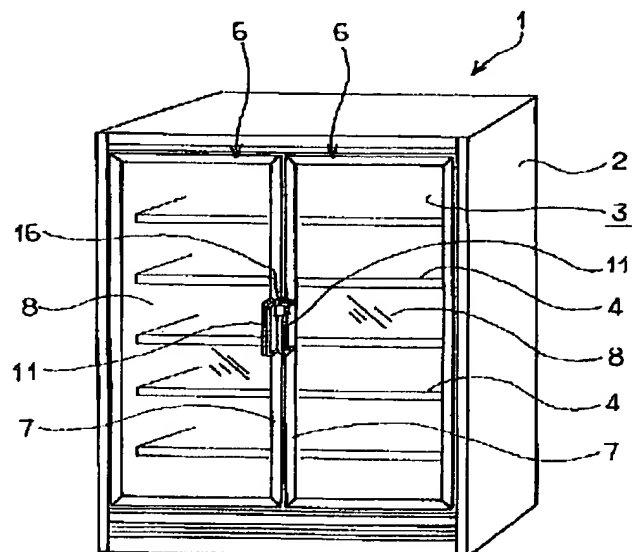
最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 ショーケース

(57) 【要約】

【課題】 扉の曇りや結露に拘わらず、商品の陳列効果を著しく向上させることができ、且つ、汎用性にも富んだショーケースを提供する。

【解決手段】 ショーケース1は、商品を陳列する貯蔵室3の開口を開閉自在に閉塞する扉6を備えたものであって、扉6の把手11に商品若しくは商品見本を着脱可能に保持し、陳列する商品陳列部1.6を形成したものである。



Best Available Copy

【特許請求の範囲】

【請求項1】 商品を陳列する貯蔵室の開口を開閉自在に閉塞する扉を備えたショーケースにおいて、前記扉の把手に前記商品若しくは商品見本を着脱可能に保持し、陳列する商品陳列部を形成したことを特徴とするショーケース。

【請求項2】 商品を陳列する貯蔵室の開口を開閉自在に閉塞する扉を備えたショーケースにおいて、前記扉の把手となる位置に、前記商品若しくは商品見本を着脱可能に取り付ける取付具を設けたことを特徴とするショーケース。

【請求項3】 取付具は、商品若しくは商品見本の両端部を挟持する一对の保持部材から成ることを特徴とする請求項2のショーケース。

【請求項4】 取付具には、商品若しくは商品見本の一端部が着脱可能に係合される係合部が形成されていることを特徴とする請求項2のショーケース。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、商品を陳列する貯蔵室の開口を扉にて開閉自在に閉塞して成るショーケースに関するものである。

【0002】

【従来の技術】従来よりこの種ショーケースは、例えば特公平4-35674号公報(F25D23/02)に示される如く、断熱壁から形成された本体内に貯蔵室を構成すると共に、この貯蔵室内に商品を陳列して冷蔵し、且つ、貯蔵室の前面開口は開閉自在の扉により閉塞していた。

【0003】また、扉には把手が取り付けられ、顧客はこの把手を持って扉を回動させ、或いは、左右方向に摺動させて開閉する方式が採られていた。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】ところで、この種ショーケースでは扉を閉じた状態においても商品陳列効果を発揮させるために、通常扉としては透明なガラス扉が用いられる。しかしながら、貯蔵室内は冷凍若しくは冷蔵温度に冷却されるため、この冷氣によって扉は内側から冷やされ、その表面には外気中の水分が凝結するようになる。係る状態となると、扉は曇ってしまい、或いは、結露してしまつて内部が見え難くなり、商品陳列効果は著しく低下する。

【0005】そこで、従来一般的には扉のガラスに熱線反射フィルムを貼付し、或いは、ヒータを配設することにより、ガラス表面の温度を高く維持して係る曇りや結露を解消するようにしているが、部品点数の増加によるコストの高騰や消費電力の増大をもたらす欠点があった。

【0006】一方で、扉の把手そのものを商品の形状に模したものが市場に存在する。係る把手によれば万一扉

が曇ってしまった場合にも、貯蔵室内の商品を把手の形状によって顧客にアピールすることが可能となるが、把手の形状に合致した商品しか貯蔵室内に収納できなくなるため、汎用性に乏しい欠点がある。

【0007】本発明は、係る従来の技術的課題を解決するために成されたものであり、扉の曇りや結露に拘わらず、商品の陳列効果を著しく向上させることができ、且つ、汎用性にも富んだショーケースを提供することを目的とする。

【0008】

【課題を解決するための手段】請求項1の発明のショーケースは、商品を陳列する貯蔵室の開口を開閉自在に閉塞する扉を備えたものであって、扉の把手に商品若しくは商品見本を着脱可能に保持し、陳列する商品陳列部を形成したものである。

【0009】請求項1の発明によれば、ショーケースの扉の把手に商品若しくは商品見本を着脱可能に保持し、陳列する商品陳列部を形成したので、貯蔵室内と同一の商品若しくはその見本を商品陳列部に保持させることにより、扉を通した貯蔵室内の視認性が悪化した場合にも、把手の商品陳列部において貯蔵室内の商品をアピールし、商品陳列効果を高く維持することができるようになる。

【0010】特に、商品陳列部には商品若しくは商品見本を着脱可能に保持できるので、貯蔵室内に収納する商品に合わせて商品陳列部に保持させる商品若しくはその見本を変更することができるようになり、汎用性にも富んだものとなる。

【0011】請求項2の発明のショーケースは、商品を陳列する貯蔵室の開口を開閉自在に閉塞する扉を備えたものであって、扉の把手となる位置に、商品若しくは商品見本を着脱可能に取り付ける取付具を設けたものである。

【0012】請求項2の発明によれば、ショーケースの扉の把手となる位置に、商品若しくは商品見本を着脱可能に取り付ける取付具を設けたので、この取付具によって商品若しくはその見本を扉に取り付けることにより、商品若しくはその見本自体を把手として機能させることができるようになる。

【0013】そして、貯蔵室内と同一の商品若しくはその見本を取り付けることで、扉を通した貯蔵室内の視認性が悪化した場合にも、扉の把手となる位置にて貯蔵室内の商品をアピールできると共に、貯蔵室内の商品に触れることによって親近感も増し、総じて商品陳列効果を高く維持することができるようになる。

【0014】特に、取付具は商品若しくは商品見本を扉に着脱可能に取り付けることができるので、貯蔵室内に収納する商品に合わせて取り付ける商品若しくはその見本を変更することができるようになり、汎用性にも富んだものとなる。

【0015】請求項3の発明のショーケースは、上記において取付具は、商品若しくは商品見本の両端部を挟持する一対の保持部材から成るものである。

【0016】請求項3の発明によれば、上記に加えて取付具を、商品若しくは商品見本の両端部を挟持する一対の保持部材から構成したので、商品若しくは商品見本の取付強度が増し、把手としての機能に支障を来すことが無くなると共に、二部品とすることによって取付具の構造も簡素化されるものである。

【0017】請求項4の発明のショーケースは、請求項2において取付具には、商品若しくは商品見本的一端部が着脱可能に係合される係合部が形成されているものである。

【0018】請求項4の発明によれば、請求項2に加えて取付具には、商品若しくは商品見本的一端部が着脱可能に係合される係合部を形成したので、商品若しくは商品見本を強固に、且つ、容易に取り付けることができるようになり、把手としての機能を支障無く達成しつつ、貯蔵室内に収納した商品に対応させる変更作業も円滑に行えるようになるものである。

【0019】

【発明の実施の形態】以下、図面に基づき本発明の実施形態を詳述する。図1は本発明を適用したショーケース1の斜視図である。この図において、ショーケース1はスーパーマーケットやコンビニエンスストアなどの店舗内に設置されるクローズドタイプの冷蔵ショーケースであり、前面に開口した箱状の断熱壁2により本体が構成されている。

【0020】この断熱壁2内には前面に開口した貯蔵室3が構成され、貯蔵室3内は図示しない冷却装置によって所定の冷蔵温度に冷却されるものである。また、この貯蔵室3内には商品を陳列するための棚4が複数段架設されている。

【0021】そして、係る貯蔵室3の前面開口は観音開き式の扉6、6によって開閉自在に閉塞される。この扉6、6は周囲のアルミニウム製扉サッシュ7内に透明ガラス8を嵌め込んだものであり、この透明ガラス8を通して貯蔵室3内を透視可能とされている。

【0022】また、左右の扉6、6の非枢支側、即ち、両扉6、6が突き合わされる側の扉サッシュ7、7には把手11がネジ止めされている。この把手11は図2に示す如く扉サッシュ7から前方に突出する上下取付部12、13と扉サッシュ7から離間して上下に延在し、両取付部12、13を一体に結ぶハンドル部14とから成り、特に、例えば向かって右側の把手11のハンドル部14と上取付部12との成す隅角部には商品陳列部16が設けられている。尚、この商品陳列部16は把手11と一体に構成しても良く、別体として後から固定しても良い。

【0023】この商品陳列部16は、透明な合成樹脂な

どから成形されており、上面に開口部16Aを有した有底矩形容器状を呈している。そして、この開口部16Aから例えば矩形形状のパック飲料商品G1を挿入することにより、商品陳列部16内には商品G1を着脱自在に保持できる。

【0024】次に、図4及び図5は図1～図3の発明の他の実施例を示している。尚、各図において図1～図3と同一符号は同一若しくは同様の機能を奏するものとする。この場合、商品陳列部16は上面に開口部16Aを有した底の浅い有底円筒容器状を呈しており、把手11と一体に成形され、若しくは、ネジなどにより固定されている。

【0025】そして、この商品陳列部16には開口部16Aから円筒状の缶飲料商品G2の下端部を嵌合することにより、着脱自在に保持させるものである。尚、G1、G2は商品そのものでなくとも、同様の形状・外観を呈した商品見本であっても良い。

【0026】このように、扉6の把手11に商品若しくは商品見本を着脱可能に保持し、陳列する商品陳列部16を形成したので、貯蔵室3内と同一の商品若しくはその見本を商品陳列部16に保持させることにより、結露などにより扉6を通した貯蔵室3内の視認性が悪化した場合にも、把手11の商品陳列部16において貯蔵室3内の商品をアピールし、商品陳列効果を高く維持することができるようになる。

【0027】これにより、扉6に熱線反射フィルムやヒータなどを取り付ける必要が無くなり、生産コストの低減を図ることが可能となる。特に、商品陳列部16には商品若しくは商品見本を着脱可能に保持させているので、貯蔵室3内に収納する商品に合わせて商品陳列部16に保持させる商品若しくはその見本を変更することができるようになり、汎用性にも富んでいる。

【0028】次に、図6及び図7はもう一つの本発明の構造を示している。尚、対象となるショーケースは図1と同様であるが、扉6の把手11の位置に、把手の代わりに図6に示す取付具21が取り付けられる。この取付具21は上面に開口部21Aを有した有底円筒容器状を呈しており、その側面は所定の範囲で上下を残し切り欠かれると共に、残った上部21Bの右端は連続して切除され、且つ、下部21Cの右端も上縁からえぐられている。

【0029】更に、上部21B及び下部21Cの後面からは連結部22、22が後方に延在し、各連結部22、22の後端には、ネジ孔23、23を有して左右に延在する固定部24、24が一体に形成されている。そして、この固定部24、24のネジ孔23、23を扉6の扉サッシュ7前面にネジ止めすることにより、取付具21は扉6に固定されている。

【0030】そして、この取付具21内には開口部21Aから円筒状の缶飲料商品G2を挿入し、上部21B及

び下部21Cの弾性によって着脱可能に保持させる。尚、G2は商品そのものでなくとも、同様の形状・外観を呈した商品見本であっても良い。

【0031】次に、図8、図9は取付具21の他の実施例を示している。この場合、取付具21は上面に開口部21Aを有した底の浅い有底円筒容器状を呈しており、その後方からは連結部22が後方に延在し、連結部22の後端には同様にネジ孔23、23を有して左右に延在する固定部24が一体に形成されている。そして、この固定部24のネジ孔23、23を扉6の扉サッシユ7前面にネジ止めすることにより、取付具21は扉6に固定される。

【0032】そして、この取付具21内には開口部21Aから円筒状の缶飲料商品G2の下端部を嵌合し、着脱可能に保持させる。尚、この場合は開口部21Aの寸法を商品G2の下端部が嵌合できる寸法として置くものである。

【0033】このように、扉6の把手となる位置に、商品若しくは商品見本を着脱可能に取り付ける取付具21を設けたので、この取付具21によって商品若しくはその見本を扉6に取り付けることにより、商品G2若しくはその見本自体を把手として機能させ、それらを持って扉6を開閉することができるようになる。

【0034】そして、貯蔵室3内と同一の商品若しくはその見本を取り付けることで、結露などにより扉6を通した貯蔵室3内の視認性が悪化した場合にも、扉6の把手となる位置にて貯蔵室3内の商品をアピールできると共に、貯蔵室3内の商品に触れることによって親近感も増し、総じて商品陳列効果を高く維持することができるようになる。

【0035】特に、取付具21は商品若しくは商品見本を扉6に着脱可能に取り付けることができるので、貯蔵室3内に収納する商品に合わせて取り付ける商品若しくはその見本を変更することができるようになり、汎用性にも富んだものとなる。

【0036】次に、図10、図11は取付具21の更に他の実施例を示している。この場合、取付具21は対を成す二個の保持部材31から構成されている。各保持部材31は、一面に開口部31Aを有した底の浅い有底円筒容器状を呈しており、その後方からは連結部32が後方に延在し、連結部32の後端にはネジ孔33、33を有して左右に延在する固定部34が一体に形成されている。

【0037】そして、上側となる保持部材31の開口部31Aを下に向け、下側となる保持部材31の開口部31Aを上に向けて、両開口部31A、31Aに商品G2の上端部及び下端部を挿入する。その状態で、各保持部材31の固定部34のネジ孔33、33を扉6の扉サッシユ7前面にネジ止めすることにより、保持部材31、31を扉6に固定する。

【0038】このように、商品G2の上下両端部を一对の保持部材31、31により挟持するようにしたので、商品G2の取付強度が増し、把手としての機能に支障を来すことが無くなると共に、二部品とすることによって取付具21の構造も簡素化される。尚、この場合も商品G2の代わりにその見本を挟持させても良い。

【0039】次に、図12、図13は取付具21の更にまた他の実施例を示している。この場合、取付具21は薄い円筒状を呈しており、その下面には開口部41Aにて開口し、内側面にネジ溝41Bが形成されたネジ込み孔41（係合部）が形成されている。更に、その後方からは連結部42が後方に延在し、連結部42の後端にはネジ孔43、43を有して左右に延在する固定部44が一体に形成されている。

【0040】次に、上記開口部41Aを下に向けた状態で、固定部44のネジ孔43、43を扉6の扉サッシユ7前面にネジ止めすることにより、取付具21を扉6に固定する。そして、この取付具21のネジ込み孔41内には開口部41Aからネジ込みキャップ式の瓶飲料商品G3の上端部を、キャップを取った状態で下からネジ溝41Bにネジ込み、着脱可能に保持させる。

【0041】更に、図14及び図15は取付具21のもう一つの他の実施例を示している。この場合も取付具21は薄い円筒状を呈しているが、全体が軟質樹脂にて形成されており、その下面には開口部51Aにて開口した保持孔51（係合部）が形成されている。更に、その後方からは連結部52が後方に延在し、連結部52の後端にはネジ孔53、53を有して左右に延在する固定部54が硬・軟合成樹脂の二重押出成形にて一体に形成されている。

【0042】次に、上記開口部51Aを下に向けた状態で、固定部54のネジ孔53、53を扉6の扉サッシユ7前面にネジ止めすることにより、取付具21を扉6に固定する。そして、この取付具21の保持孔51内には開口部51Aから商品G2の上端部を嵌め込み、その弾性にて着脱可能に保持させる。

【0043】このように、商品G3若しくは商品G2の上端部を着脱可能に係合保持するようにしたので、商品G3若しくは商品G2を取付具21に強固に、且つ、容易に取り付けることができるようになり、把手としての機能を支障無く達成しつつ、貯蔵室3内に収納した商品に対応させる変更作業も円滑に行えるようになる。尚、この場合も商品G3或いはG2に代えてそれらの見本を取り付けても良い。

【0044】

【発明の効果】以上詳述した如く請求項1の発明によれば、ショーケースの扉の把手に商品若しくは商品見本を着脱可能に保持し、陳列する商品陳列部を形成したので、貯蔵室内と同一の商品若しくはその見本を商品陳列部に保持させることにより、扉を通した貯蔵室内の視認

性が悪化した場合にも、把手の商品陳列部において貯蔵室内の商品をアピールし、商品陳列効果を高く維持することができるようになる。

【0045】特に、商品陳列部には商品若しくは商品見本を着脱可能に保持できるので、貯蔵室内に収納する商品に合わせて商品陳列部に保持させる商品若しくはその見本を変更することができるようになり、汎用性にも富んだものとなる。

【0046】請求項2の発明によれば、ショーケースの扉の把手となる位置に、商品若しくは商品見本を着脱可能に取り付ける取付具を設けたので、この取付具によって商品若しくはその見本を扉に取り付けることにより、商品若しくはその見本自体を把手として機能させることができるようになる。

【0047】そして、貯蔵室内と同一の商品若しくはその見本を取り付けることで、扉を通した貯蔵室内の視認性が悪化した場合にも、扉の把手となる位置にて貯蔵室内の商品をアピールできると共に、貯蔵室内の商品に触れることによって親近感も増し、総じて商品陳列効果を高く維持することができるようになる。

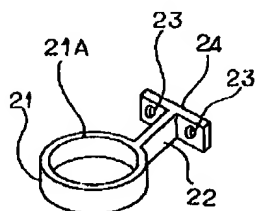
【0048】特に、取付具は商品若しくは商品見本を扉に着脱可能に取り付けることができるので、貯蔵室内に収納する商品に合わせて取り付ける商品若しくはその見本を変更することができるようになり、汎用性にも富んだものとなる。

【0049】請求項3の発明によれば、上記に加えて取付具を、商品若しくは商品見本の両端部を挟持する一対の保持部材から構成したので、商品若しくは商品見本の取付強度が増し、把手としての機能に支障を来すことが無くなると共に、二部品とすることによって取付具の構造も簡素化されるものである。

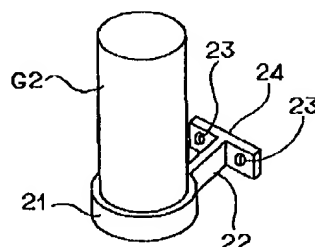
【0050】請求項4の発明によれば、請求項2に加えて取付具には、商品若しくは商品見本的一端部が着脱可能に係合される係合部を形成したので、商品若しくは商品見本を強固に、且つ、容易に取り付けることができるようになり、把手としての機能を支障無く達成しつつ、貯蔵室内に収納した商品に対応させる変更作業も円滑に行えるようになるものである。

【図面の簡単な説明】

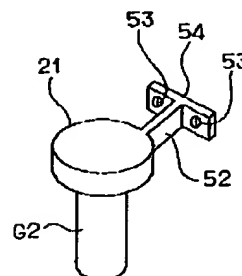
【図8】



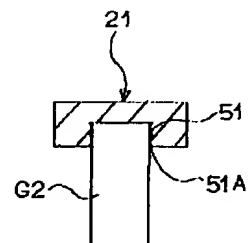
【図9】



【図14】



【図15】



【図1】本発明の実施例のショーケースの斜視図である。

【図2】図1のショーケースの把手部分の拡大斜視図である。

【図3】商品陳列部内に商品を収納した状態の図1のショーケースの把手部分の拡大斜視図である。

【図4】他の実施例の商品陳列部を備えた図1のショーケースの把手部分の拡大斜視図である。

【図5】図4の商品陳列部内に商品を収納した状態のショーケースの把手部分の拡大斜視図である。

【図6】もう一つの本発明の取付具の斜視図である。

【図7】図6の取付具に商品を保持させた状態の斜視図である。

【図8】他の実施例の取付具の斜視図である。

【図9】図8の取付具に商品を保持させた状態の斜視図である。

【図10】更に他の実施例の取付具の斜視図である。

【図11】図10の取付具に商品を保持させた状態の斜視図である。

【図12】商品を保持した更にまた他の実施例の取付具の斜視図である。

【図13】図12の取付具の断面図である。

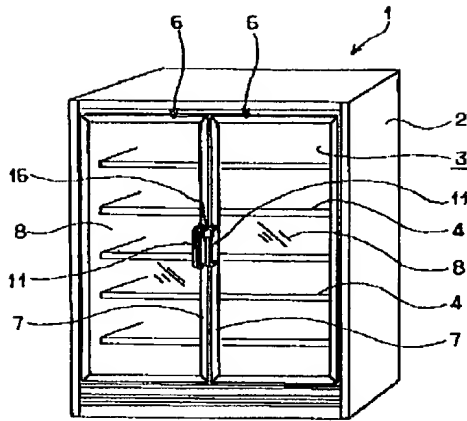
【図14】商品を保持したもう一つの実施例の取付具の斜視図である。

【図15】図14の取付具の断面図である。

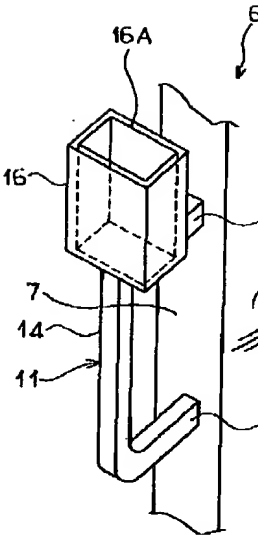
【符号の説明】

- 1 ショーケース
- 3 貯蔵室
- 6 扉
- 7 扉サッシ
- 8 透明ガラス
- 11 把手
- 16 商品陳列部
- 21 取付具
- 31 保持部材
- 41 ネジ込み孔
- 51 保持孔
- G1、G2、G3 商品

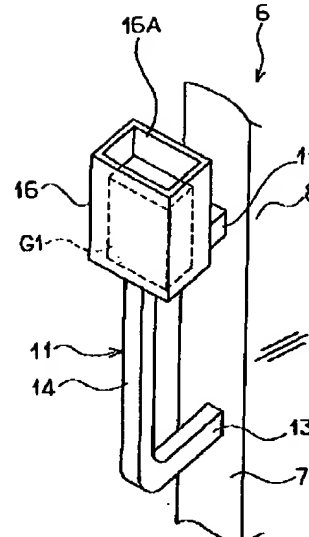
【図1】



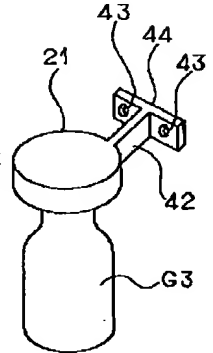
【図2】



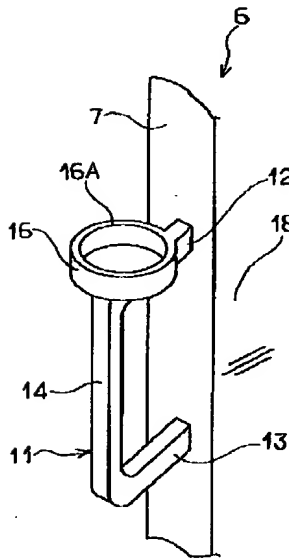
【図3】



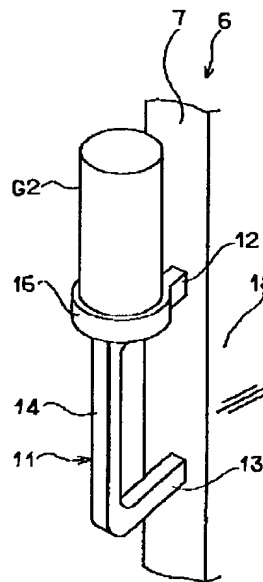
【図12】



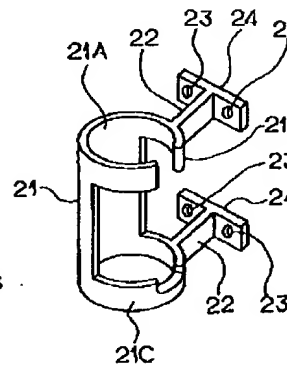
【図4】



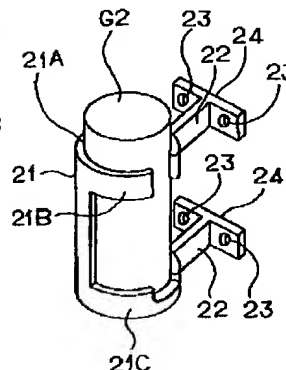
【図5】



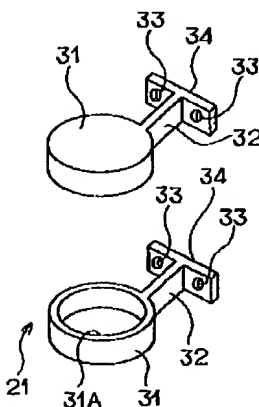
【図6】



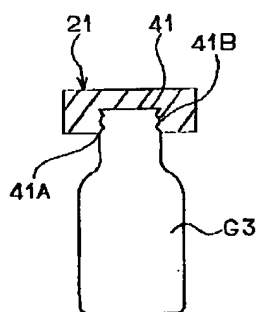
【図7】



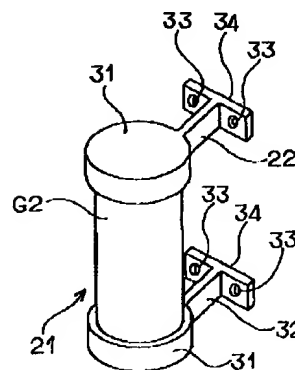
【図10】



【図13】



【図11】



フロントページの続き

(72) 発明者 岸本 大三郎
大阪府守口市京阪本通 2 丁目 5 番 5 号 三
洋電機株式会社内

**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning
Operations and is not part of the Official Record**

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- ☐ **BLACK BORDERS**
- ☐ **IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES**
- ☒ **FADED TEXT OR DRAWING**
- ☒ **BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING**
- ☐ **SKEWED/SLANTED IMAGES**
- ☐ **COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS**
- ☐ **GRAY SCALE DOCUMENTS**
- ☐ **LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT**
- ☐ **REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY**
- ☐ **OTHER:** _____

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.